

キリストによって、キリストとともに、キリストのうちに

主任司祭 吉池 好高

「キリストによって、キリストとともに、キリストのうちに、聖霊の交わりの中で、全能の神、父であるあなたに、すべての誉れと栄光は世々に至るまで」。ミサの中心部分である奉献文はこのような栄唱によって閉じられます。しかし、ミサのたびごとにわたしたちが唱える、神の栄光をたたえるこの栄唱は世々に渡って永遠に至る神への感謝と賛美の叫びです。すべてのものの創造主、すべてのいのちの源である神をたたえる賛美の歌をささげるために、わたしたちはミサに招かれています。

この招きは、わたしたちすべてのものために、十字架の死によって、そのいのちを与えてくださった神の御子イエス・キリストによってもたらされた招きです。そのイエス・キリストの招きによって、わたしたちもイエス・キリストとともに父なる神の栄光をほめたたえる者たちとされているのです。ここにわたしたちの永遠のいのちの世界が今現在のものと なっているのです。復活のイエス・キリストが弟子たちに吹き込まれた聖霊は、聖霊降臨の日に使徒たちの宣教のことばを受け入れたすべての人々の上に降り、イエス・キリストを主と信じる人々の教会が誕生しました。その教会の中で洗礼と堅信の秘跡を受けたわたしたちの上にも聖霊は信仰による新たないのちを注いでくださいました。そのいのちを受けて、そのいのちに結ばれた神の子とされ、神の民となったわたしたちは、父なる神のいのちの交わりの中に招き入れられて、神の御子、私たちの主イエス・キリストとともに、永遠に渡って三位の神の栄光をたたえるのです。

神の栄光とは、創造と救いのみわざによってわたしたちに示された神の存在のありようそのものです。わたしたちを包み、示されているその栄光によって、わたしたちは愛そのものである神の存在を知り、神の栄光をたたえることができるようになったのです。わたしたに残されたことは、心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして。すべてのものとともに神の栄光のみわざをほめたたえて、声を限りにアーメンと叫ぶことだけです。今日もこのミサがわたしたちの永遠のアーメンへの幕開けとなりますように。